



令和4年7月15日(金) vol.4

なつやす す かた 夏休みの過ごし方

もうすぐ夏休みです。一か月以上休みの時間をどのように使う予定ですか。1年生は、高校はじめての夏休み、3年生は就職の準備(応募前職場見学、スーツの準備など)で大忙しだと思います。2年生も進学を希望する生徒は、オープンキャンパスには必ず参加してもらいたいと思います。でも、みんな、せっかくの夏休みを自分の成長につなげられるものにしてもらいたいと思います。まだアルバイトを始めていない生徒は、短期のアルバイトを始めてほしいと思います。しかし、教務部通信なので学習面でいうと本を読むことをお勧めします。先生の本との出会いは大学の講義で読んだ山崎豊子さんの『白い巨塔』という作品でした。医学界の問題点や腐敗を鋭く追及した社会派小説で、テレビドラマにもなっています。あと、国語科の甲斐先生にも高校生のみんなに読んでもらいたい作品を紹介してもらいました。



かっぱ あくたがわりゆうのすけ 『河童』芥川龍之介

授業でおすすめしたことがあるかもしれませんが、短編で非常に読みやすい作品です。河童が登場し、その所作の可愛らしさに心を打たれる一方、河童社会の問題は暗に人間社会の闇を示す皮肉となっています。そのシニカルな構造は「さすが芥川!」と思わせる作品です。短編集に収録されているので、その他の作品もぜひご一読ください。



先生は、本を読むことによって、本の楽しさを知ったことはもちろん、文章を書く力や漢字の読み書き、話すときの言葉の使い方まで多くの力がついたと思っています。皆さんもぜひこの夏、本との出会いがあるといいですね。

とっぜん 突然、クイズコーナー

第1問 これは、地球最後の男の物語。

最後の生き残りである彼は、ある嵐の夜、ひとり机に向かって、遺書を書いていました。もう、思い残すことは何もありません。誰か、どこかの星から生命体に来て、これを読んでくれたらと。そこへ、「トン、トン」。ドアがノックされたのです! いったい、誰でしょう。

第2問 占い師に占ってもらう人がいます。

占い師Aの言うことは、6割の確率で当たります。Bの占い師は、3割しか当たりません。この人は、Bに占ってもらうことにしました。なぜでしょう。

こた えを知りたい人は、教務部「いそむら」まで。

